

週間漁海況情報一第 32 号

平成 25 年 8 月 19 日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

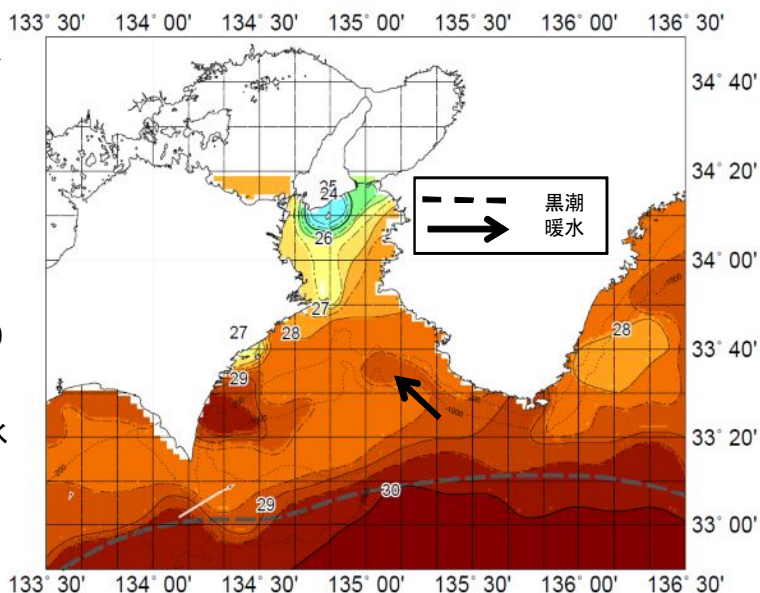
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25. 8. 19）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で接岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、29 ～ 30℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で 27 ～ 28℃台、紀伊水道で 24 ～ 27℃台、海部沿岸で 26 ～ 29℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸から反時計回りの暖水流入がある。



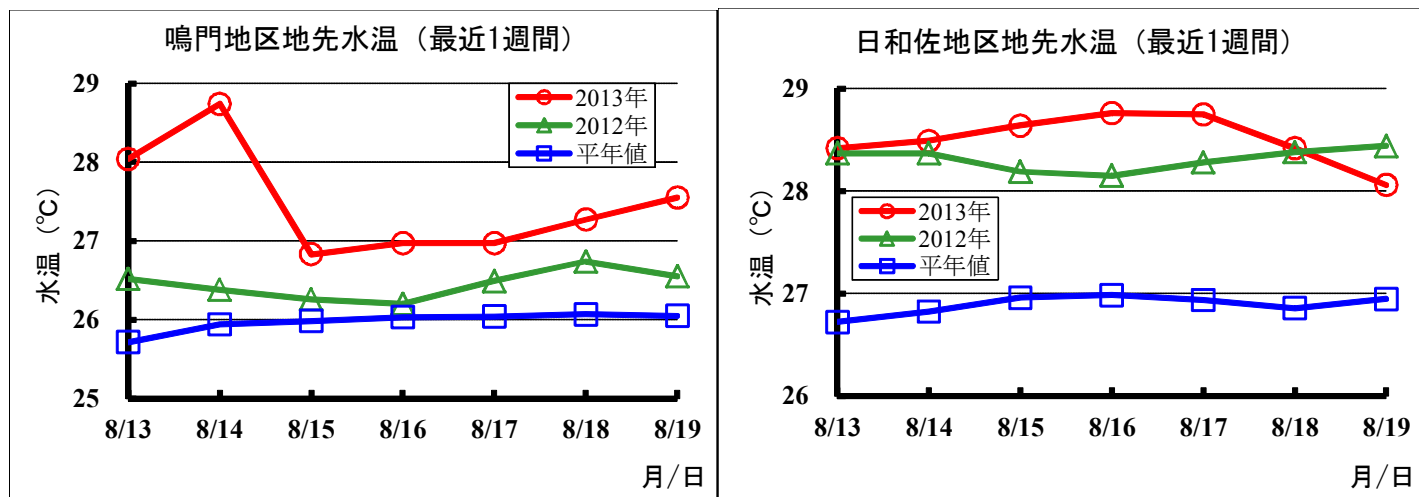
紀伊水道海区観測結果

観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
8/2, 5, 6	今年値	25.8	23.8	22.6	21.2	17.7	32.2	32.9	33.3	33.8	34.5
	平年偏差	-0.1	-0.9	-1.7	-2.3	-3.3	0.5	0.3	0.3	0.4	0.4
	前年偏差	-1.7	-3.3	-4.6	-6.1	-8.4	0.4	0.5	0.6	0.7	1.2

海部沿岸海区観測結果

観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
8/7, 8, 9	今年値	28.1	26.9	24.6	22.7	19.8	16.8	33.4	33.6	33.9	34.2	34.5	34.6
	平年偏差	0.9	0.5	-0.8	-1.6	-1.8	-0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.0
	前年偏差	-0.7	-1.5	-3.5	-4.9	-4.7	-2.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.1

漁業調査船「とくしま」で 8 月 2、5 及び 6 日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、表層が「平年並」の 25.8℃、10 ～ 30m 層が「やや低め」～「低め」の 21.2 ～ 23.8℃、50m 層が「かなり低め」の 17.7℃であった。同調査船で 8 月 7、8 及び 9 日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、表層～10m 層が「やや高め」の 26.9 ～ 28.1℃、20m ～ 100m 層が「やや低め」～「低め」の 16.8 ～ 24.6℃であった。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「かなり高め」の26.8～28.7℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の28.1～28.8℃、牟岐地区は「やや低め」～「高め」の26.2～28.7℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大・中主体にアカムツが1.5トン（1日1隻あたり19kg）、大主体にキダイが0.3トン（同16kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、サバ類が0.2トン（同24kg）、マルソウダが0.6トン（同12kg）、小小主体にアカカマスが0.2トン（同9kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、イサキが0.4トン（同26kg）、マルソウダが0.6トン（同9kg）、特大主体にキハダマグロが0.2トン（同57kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが147.0トン（同795kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 8月5日～8月18日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	83	1,548	19	大・中主体
		キダイ	16	252	16	大主体
小型定置網		サバ類	9	220	24	
		マルソウダ	49	566	12	
		アカカマス	28	244	9	小小主体
釣り		イサキ	17	434	26	
		マルソウダ	70	630	9	
		キハダマグロ	4	227	57	特大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	185	147,000	795	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」、潮岬沖において、「やや離岸」～「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」～「やや高め」の26～27℃台、日和佐地先で「やや高め」～「高め」の27～28℃台で推移する見込み。